## 国内外の避難民数　1,300 万人
2022 年 10 月時点

### ウクライナ人道危機
ウクライナでは武力紛争の影響により家族、家を失い、命の危険にさらされている人がいます。
日本赤十字社は、現地で各国の赤十字と連携して支援を続けています。必要とされる水や食料などの救援物資や現金の支給をはじめ、傷ついたこころとからだのケア、安全な国内外への避難経路の確保と誘導など、幅広い活動を展開しています。

# UKRAINE

©Alyona Synenko/ICRC

©Ichigo Sugawara

# AFRICA

## 食糧危機に陥っている人の数　1 億 4,600 万人

### 食糧危機
世界の他の地域に目を向けてみると、例えばアフリカでは、日本の人口よりも多くの人が食糧危機に陥っています。
アフリカはこれまでに、教育を受ける機会の不足、収入の格差、政治的な不安定による紛争、気候変動による干ばつ、水害などいくつもの問題を抱えていました。そこに新型コロナウイルス感染症、ロシアとウクライナの武力紛争の影響が加わったことで食料危機はさらに深刻な状態にあります。
ロシアやウクライナに注目が集まると、支援に偏りが生まれ、これまで支援が必要だった国々への関心が薄くなってしまうことも危惧されています。

# あなたの手を待っている人は誰ですか？

## 隣人のちょっとした変化に気づけますか？　気づいたら、声をかけてみよう！

戦争や紛争のニュースの中で「人道」という言葉を耳にします。赤十字では人道的活動をするうえで、「利己心」「無関心」「想像力の欠如」「認識不足」が障害になると言われ、これらを「人道の敵」と呼んでいます。
誰かが助けを必要とする場面に直面したときに、「自分は関係ない」と無関心でいたり、「知らなかった」で済ませたりするのではなく、優しさや思いやりを持って相手のことを自分事のように「想像すること」が、相手の問題に「気づき」・「行動する」きっかけになります。あなたの隣人、友だち、家族のちょっとした変化に気づき声をかける、街の中で困っている人に気づき声をかける、そんな優しい心を持ってください。

# JAPAN

## 子どもの貧困率　13.5%
厚生労働省
「2019 年度国民生活基礎調査」より
子どもは 17 歳以下
貧困率は、相対的な貧困

## 国内でも
食料や物資、お金などの支援だけでは救えない命があります。
新聞や TV、ネットでは知れず、誰にも気づかれないところで、
**いじめ、偏見、差別、**
**貧困やヤングケアラーなどで誰にも話せず孤立し、**
**不安や悩みを抱え、苦しんでいたり、**
**抜け出すために誤った道を選んでしまう人が、**
あなたの近くにいるかもしれません。
その人の身になって考え、最初は声をかけるところから

## 「大丈夫？」「何かあった？」「聞くよ！」

**最近**
**笑顔が減っていないか**
**ひとりが多いな**
**言葉や態度が乱暴だな**
**ちょっとした変化に**
**気づいたら**

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society
人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

国際社会全体の開発目標である SDGs の策定には、赤十字も深く関与しており、目標の達成に向け貢献しています。

青少年赤十字機関紙（中・高合併号）546 号（令和 5 年 4 月 1 日）　発行：日本赤十字社 事業局 パートナーシップ推進部 ボランティア活動推進室 青少年・ボランティア課
東京都港区芝大門 1-1-3　TEL 03-3437-7083　https://www.jrc.or.jp/